



霧が丘

令和6年1月26日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 根岸 淳

「当たり前」のありがたさ

中学部副校長 濱部 剛

新年を迎え、すでに1ヶ月経とうとしています。保護者の皆様、地域の皆様、去年は本校の教育活動に、ご理解とご協力をありがとうございました。本年も引き続き、霧が丘学園の児童・生徒たちと教育活動への温かな応援をよろしく願います。

今年度の学校生活も残り2か月となりました。1年生から8年生の皆さんは、それぞれの学年での学びを集大成して、次の学年への準備をしてください。9年生は進路決定の時期となり、3月12日(火)には卒業式も控えています。義務教育の最終段階という自覚をもって、自分自身で進路を決定して欲しいと思います。これまでの9年間、霧が丘学園でどのように過ごしてきたのかは、10年後、20年後に意味をもってくるでしょう。9年生一人ひとりの進路決定は、どれもが正解です。どのような進路であっても、それが自分の生きる道となり、そこで自分らしくやるべきことに精一杯取り組むことが正解につながります。目先のことに一喜一憂することなく、将来を見据えて大きく成長してください。残されたわずかな日々を大切に過ごして欲しいと思います。

さて、コロナ禍を経て、『当たり前』の日常が戻ってきましたが、再び「当たり前」のありがたさを感じさせられる年の始まりになりました。石川県を中心とする北陸地方を襲った、能登半島地震の状況は皆さんも知っていると思います。災害はいつ来るかわからないとは言いますが、まさか新年最初の日こんなに大きな地震が来るとは誰も考えていなかったでしょう。今でも避難所の方々は、トイレ、お風呂などが十分でない中、皆で力を合わせて懸命に生活しています。霧が丘の町では防災に力を注ぎ、地域の皆さんが様々な活動を行い災害に備えています。被災地で一日でも早く復旧活動や十分な支援活動が行われることを祈りながら、学園でも防災教育を心がけていきます。『当たり前』の生活ができることに感謝し、児童・生徒と共に日々の活動を大切にしていくことが我々にできることだと強く感じています。今年も、人とのかかわり合いを大切に、豊かな人間性を育む1年にしていきます。

12月末には、中学部で待ちに待った新グラウンドが完成しました。完成までの半年間、生徒の皆さんには活動の制限を強いましたが、水はけがよく、砂ぼこりが舞わない素晴らしいグラウンドの完成を皆で喜んでいます。9年生も新グラウンドで、卒業前に学年行事が開催できます。楽しみにしてください。1年生から8年生の皆さんは、これから新グラウンドで、体育祭等の行事や部活動での思い出をたくさんつくってください。当初は2月完成の予定でしたが、天候にも恵まれ、建設会社等関係者の皆様の頑張りで、こんなにも早い完成となりました。本当にありがとうございました。



【学校の様子をホームページにてお知らせしています】

各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<霧が丘学園ホームページ>

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード